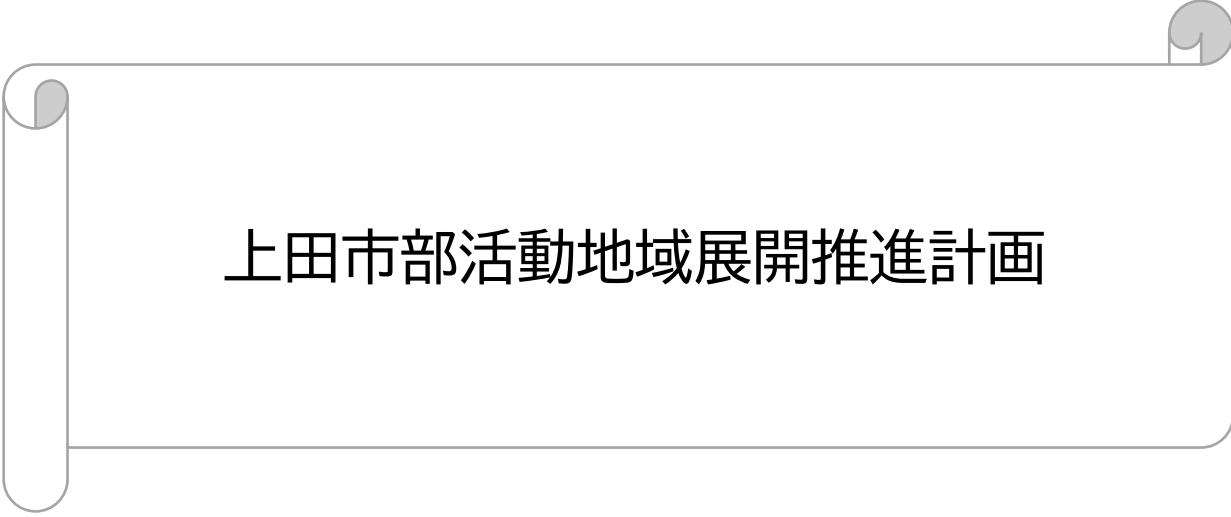


A decorative graphic consisting of a light gray rectangular frame with rounded corners. On the left side, there is a vertical scroll-like element with a small circular tab at the top. On the right side, there is a small circular tab at the top right corner.

上田市部活動地域展開推進計画

令和 7 年 4 月

上田市・上田市教育委員会

はじめに

学校部活動は、スポーツや文化芸術活動に興味・関心のある同好の中学生が、自主的・自発的に参加し、各部活動の責任者（部活動顧問）の指導の下、学校教育の一環として行われ、本市のスポーツ・文化芸術振興の一翼を担ってきました。

また、体力や技術の向上を図る目的以外にも、異年齢との交流の中で、中学生同士や中学生と教員等との好ましい人間関係の構築を図り、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の涵養に資するなど、学校という環境における中学生の自主的で多様な学びの場として、教育的意義を有してきました。

しかしながら、少子化が進展する中、学校部活動を従前と同様の体制で運営することは難しくなっており、学校や地域によっては存続が厳しい状況にあります。また、専門性や意思に関わらず教員が顧問を務めるこれまでの指導体制を継続することは、学校の働き方改革が進む中、より一層厳しくなっています。

こうした状況の中、スポーツ庁及び文化庁においては、学校部活動の段階的な地域展開に関する検討を進め、令和４年（２０２２年）１２月に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を策定し、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応等を示しました。このガイドラインでは、中学生の豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現するためには、学校と地域との連携・協働により、学校部活動の在り方に関し速やかに改革に取り組み、中学生や保護者の負担に十分配慮しつつ、持続可能な活動環境を整備することが求められています。

また、長野県教育委員会では、令和６年（２０２４年）３月に「長野県中学生期のスポーツ・文化芸術活動指針」及び「長野県地域クラブ活動推進ガイドライン」を策定し、令和８年（２０２６年）度末を目途に、休日の学校部活動の地域クラブ活動への展開完了を目指すとしています。

本市においても、国のガイドラインの策定を受け、令和５年（２０２３年）１２月に「上田市地域クラブ推進協議会」を設置し、部活動の地域展開に向けて検討を開始しました。

部活動地域展開に関する、国・県の方針、「上田市中学生期のスポーツ・文化芸術活動指針」及び「上田市地域クラブ推進協議会」での協議を踏まえる中で、部活動の地域展開を推進するための具体的施策を示すため、本計画を策定することとしました。

学校部活動を取り巻く環境の変化に対応し、将来にわたり中学生がスポーツ・文化芸術活動等に継続して親しみ、楽しむことができる機会を確保していきます。

目 次

1 計画の位置づけ

2 計画の期間

3 上田市の現状

- (1) 少子化
- (2) 部活動加入率
- (3) 合同チームの状況
- (4) 教職員の長時間勤務
- (5) アンケート調査から見える思い

4 計画の目標

- (1) 基本目標
- (2) 基本方針

5 展開スケジュール

6 児童生徒の新たな出会い・体験の場の創出に向けて

7 計画の推進体制

- (1) 上田市地域クラブ活動推進協議会
- (2) 計画の見直し
- (3) 情報の発信

1 計画の位置づけ

本計画は、スポーツ庁・文化庁の「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び長野県の「長野県地域クラブ活動推進ガイドライン」において求められる「市推進計画」として策定するものです。

2 計画の期間

本計画の期間は、令和6年（2024年）を初年度とし、長野県が休日の部活動の地域クラブ活動への移行の目途としている令和8年（2026年）度末までとします。

3 上田市の現状

（1）少子化

本市においても、生徒数が減少しています。

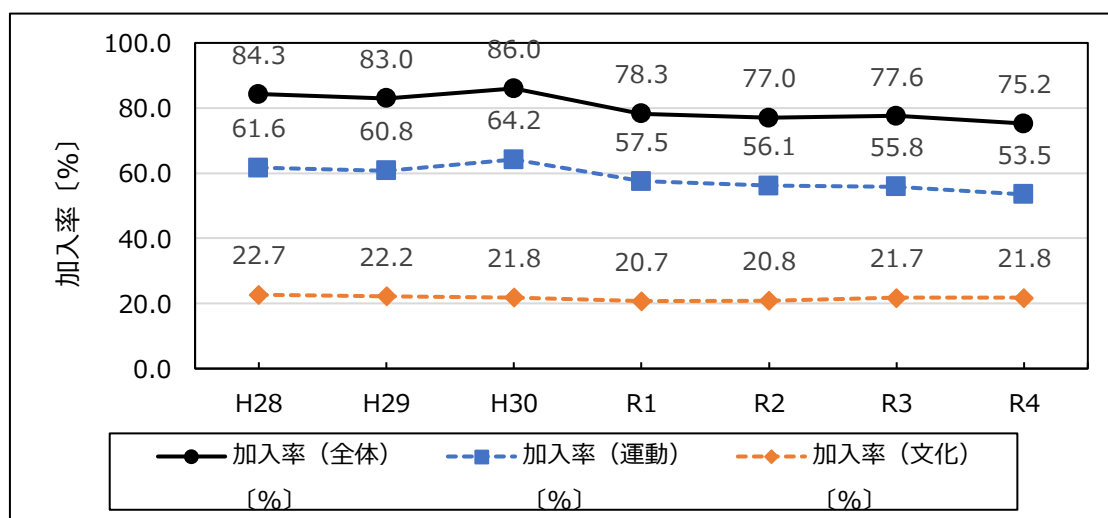
令和6年度の生徒数は3,777人で、8年前と比べ人数で581人、率で13.3%減少しています。

【上田市立中学生数（各年度5月1日現在） 単位：人】

年度	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
生徒数	4,358	4,280	4,204	4,123	4,044	3,960	3,862	3,808	3,777
前年比	▲27	▲78	▲76	▲81	▲79	▲84	▲98	▲54	▲31

（2）部活動加入率

部活動加入率は減少しています。特に運動系の加入率の減少が顕著です。



(3) 合同チームの状況

集団競技において学校単位で参加することが困難となっています。

【令和 6 年度中体連大会参加に係る合同チーム編成 ※上田市立中学校関連】

夏季東信大会（4 競技 6 チーム）	東信新人大会（4 競技 8 チーム）
1 軟式野球 ① 三中・四中 ② 一中・北御牧中 ③ 丸子中・依田窪南部中 2 サッカー 丸子中・丸子北中・依田窪南部中 3 女子バスケットボール 丸子中・依田窪南部中 4 女子バレーボール 丸子中・依田窪南部中	1 軟式野球 ① 三中・塩田中 ② 一中・北御牧中 2 サッカー ① 丸子中・丸子北中・依田窪南部中 ② 五中・真田中 ③ 二中・東部中 3 女子バスケットボール 五中・真田中 4 女子バレーボール ① 三中・依田窪南部中 ② 丸子中・丸子北中

(4) 教職員の長時間勤務

公立学校における教員の休日勤務時間を小学校と中学校で比較すると、中学校教員の方が 1 月あたり約 3 時間 30 分長くなっている。これは、休日の部活動指導や大会引率等が影響しているものと推測される。

（令和 4 年 9 月 長野県教育委員会義務教育課教職員の勤務時間等の調査より）

(5) アンケート調査から見える思い

上田市教育委員会では令和 5 年 12 月に「地域クラブ活動推進に係るアンケート調査」を実施しました。

（主な調査結果）

■児童生徒(小学校 5 年～中学校 2 年 回答総数 3,553/5,118 人 回答率 69.4%)

- ・学校部活動に入りたい/入っている人の割合は高く（小学生約 6 割/中学生約 8 割）、平日の部活動の需要は大きい。
- ・一方、休日の学校部活動の需要は小さく（全体の 3 割台）、休日は「ゆっくりしたい」「家族や友だちと遊びたい」と思っている人が多い。
- ・活動の中では「友だちと活動を楽しむこと」を大事にしている人が多い。

- ・学校部活動を希望する人の中でも、おおよそ半分は休日について「毎週」の活動を希望していない。
- ・休日の地域クラブ活動について「平日の学校部活動と同じ活動をしたい」人は3割台であり、新たな活動も期待されている。

- 学校部活動においては、成績上位・トップアスリートを目指すことよりも楽しむことが重要視されており、また、休日の活動の需要は小さい。
- 学校部活動を地域の活動へ移行するにあたっては、現在の活動をそのまま移行することが望まれているわけではない。

■保護者（上記、児童生徒の保護者 回答総数 3,118/5,118 人 回答率 60.9%）

- ・許容できる月謝は「3,000 円以下」が約 6 割を占める。
- ・送迎は「できない」「どちらかと言えばできない」が約 4 割
- ・期待することは「技能や体力に合わせた指導」「専門性の高い指導」や「参加するかどうか自分で決められること」「現在の部活動にない活動」などが多い。
- ・不安に感じることは「活動場所への移動」「費用負担」「指導」などが多い。

- 地域クラブ活動においては、参加するかどうかを選択できることや、個のレベルに合った活動、また、現在の部活動にない活動への期待が高く、現在の活動をそのまま移行することが望まれているわけではない。
- 費用負担や移動に関する不安が多く、支援について検討の必要がある。

■中学校教員（回答総数 154/269 人 回答率 57.2%）

- ・休日の指導を希望する教員は少ない。

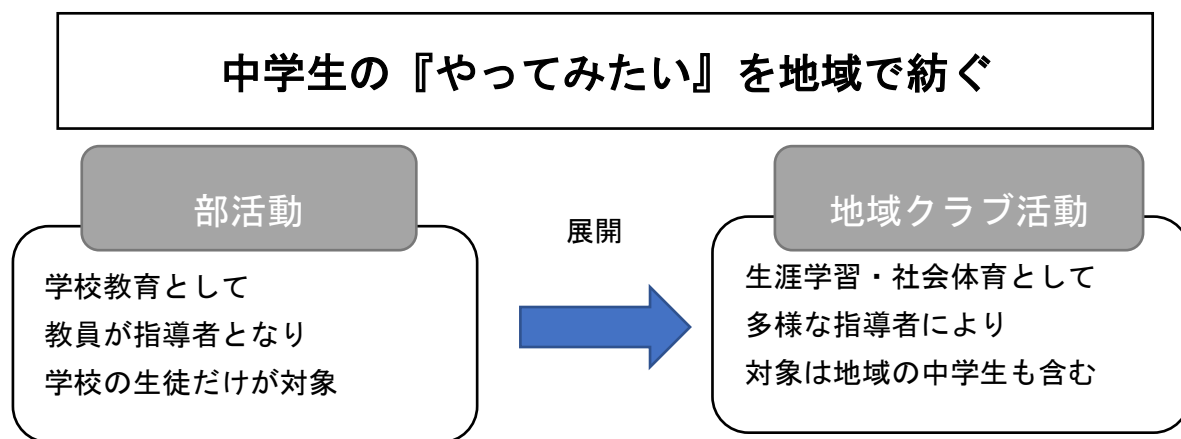
- 現在、休日において多くの教員が部活動指導にあたっている働き方には問題がある。
- 働き方改革の観点からも、休日は心身を休めていただき、教員の健康を守っていくことが必要

4 計画の目標

(1) 基本目標

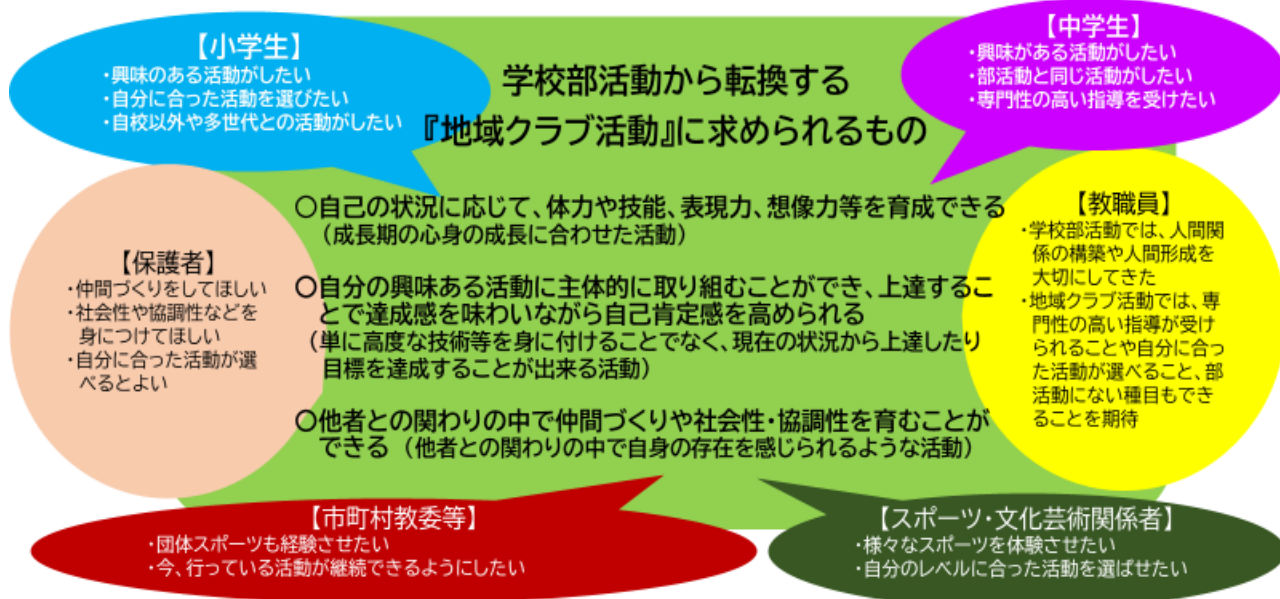
上田市では、令和3年3月に策定した『上田市教育大綱』において、「**燦と輝く上田の未来を紡ぐ人づくり**」を基本理念に据え、子どもたちの将来の礎となる「**生きる力**」を社会全体で育むことを目指しています。

「**中学校部活動の地域クラブ活動への展開**」という、戦後日本の学校教育における大きな改革を地域社会の変革のチャンスと捉え、これまで部活動が担っていた役割・機能を地域社会に展開し、生徒が自分のやりたい活動に自分らしく取り組めるよう、地域全体におけるスポーツ・文化芸術活動の環境整備を進めます。



長野県中学生期のスポーツ・文化芸術活動が目指す姿

〔 ○ 小学5・6年生、中学生、保護者、公立小中学校教職員へのアンケート結果（R5. 6～7月） 〕 から導かれるもの
〔 ○ 長野県地域スポーツ文化芸術活動推進連絡協議会での検討、市町村教委等との懇談・意見交換 〕



(2) 基本方針

基本目標を実現するため、基本方針を定め地域展開を推進します。

方針 1

学校部活動の学校・地域間連携の推進

学校部活動と地域で活動している人材や団体、他の中学校との連携を推進することで、活動機会の確保と活動内容の充実を図ります。

方針 2

生徒の多様なニーズに応える環境づくり

総合型地域スポーツクラブなど既存クラブ、先駆的に取り組んでいる活動団体等のノウハウや創意工夫をモデルに、生徒が主体的に多様な活動に親しむことができる環境づくりを進めます。

方針 3

適正な活動と持続可能な運営体制の構築

指導者研修などにより、安全で適正な指導の質を確保するとともに、受益者負担による自立的運営を継続できる仕組みを構築します。

方針 4

生涯にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境整備

生徒が主体的に多様なスポーツ・文化芸術活動を選択できる環境づくりを通じ、全世代の市民にとってのスポーツ・文化芸術活動の活性化を図ります。

5 展開スケジュール

国のガイドラインでは、令和5年度から令和7年度までを改革推進期間と位置付け、まずは、休日の部活動の地域展開を推進するとしています。一方、長野県教育委員会は、県の地域特性を鑑み、令和8年度までに休日部活動の地域展開を進めるとしています。

上田市では、上田市地域クラブ活動推進協議会での協議において、「部活動と地域クラブ活動が混在することへの懸念」、「新たなスポーツ・文化芸術活動の環境を整えるには、休日と平日の一体的な推進が必要」との意見があり、休日と平日を分けず、令和8年（2026年）度末を目途に、部活動が地域クラブ活動へ展開することを目指し取組を進めます。

なお、展開時期は一律に適用するのではなく、運動系、文化系などの種目や地域の実情に応じて弾力的に進めることとします。

上田市では、地域クラブ活動の実施主体として、スポーツ協会、競技団体、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、文化少年団など、運営組織やノウハウ、指導者を備えている既存団体のほか、住民組織や保護者、民間事業者が新たに地域クラブを立ち上げ活動を開始することも想定されます。

学校部活動は各中学校が運営主体となっていますが、地域クラブ活動に展開した際は、これら実施主体と連携し、適正で持続可能な運営体制を構築し、会計処理、会場確保、指導者指導、安全管理等実務を行う、運営主体を設ける必要があります。

運営主体は、上田市地域クラブ活動推進協議会による協議で今後決定します。

令和 6 年度
制度設計期

- ・上田市部活動地域移行推進計画策定
- ・モデル事業の実施
- ・学校間連携のたたき台(素案)検討
- ・部活動指導員、外部指導者の配置
- ・地域クラブ活動移行の周知、協力依頼
- ・市ホームページに特設コーナー設置(以降、随時更新)

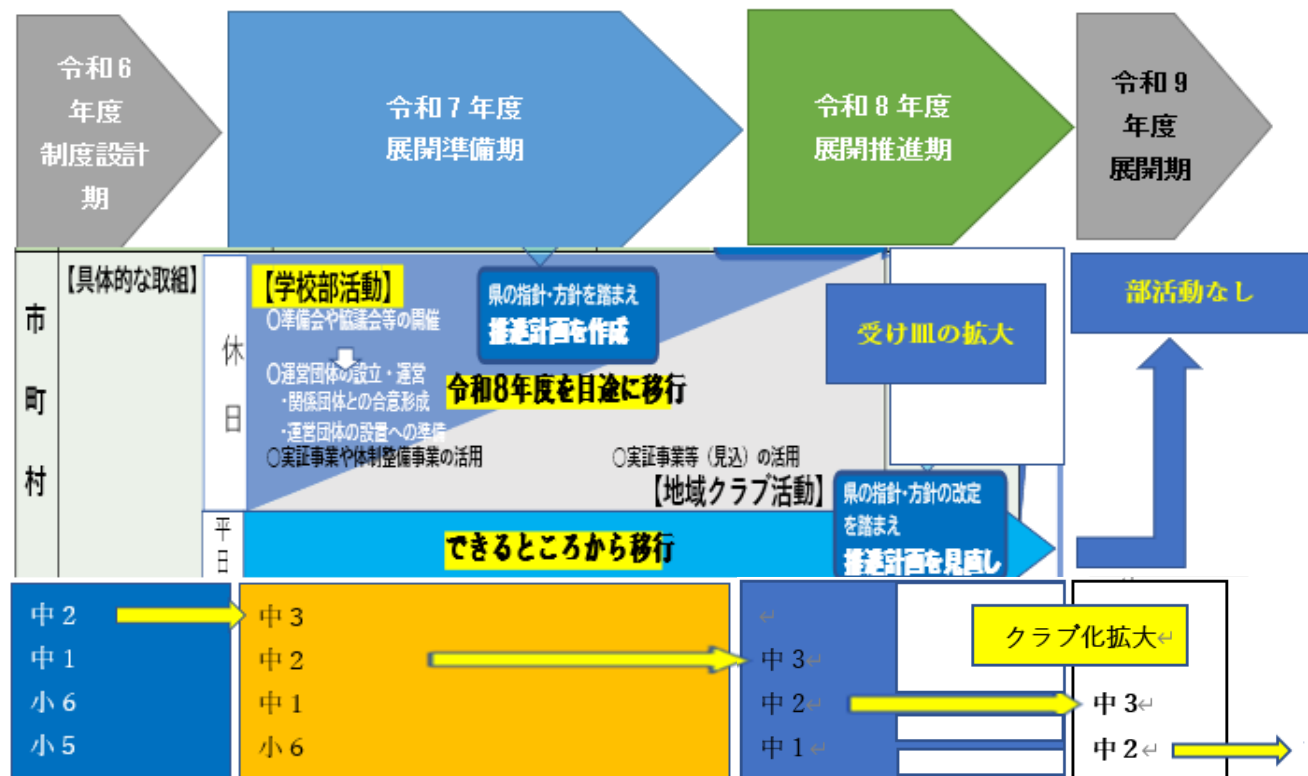
令和 7 年度
展開準備期

- ・事務局の設置、専任コーディネーター配置
- ・小委員会の設置及び協議、クラブ活動運営主体の設置検討
- ・各種課題の洗い出し、課題に対する支援策の検討、一部実施
- ・地域クラブ活動ガイドライン策定
- ・先行地域、種目の地域クラブ活動開始
- ・地域、種目による地域クラブの設置状況の調整
- ・モデル事業の実施、検証
- ・学校間連携の推進
- ・地域クラブの拡充(説明会開催)
- ・生徒のニーズに応じた新しい活動の場の立ち上げ

令和 8 年度
展開推進期

- ・地域クラブ活動の拡充、充実
- ・地域クラブの活動周知(広報、説明会)
- ・地域クラブ活動への入会
- ・各種支援策の実施
- ・指導者募集及び研修会の実施
- ・年度末までに部活動を地域クラブ活動に展開(目指す)
- ・県の指針改定、地域展開の検証により、今後の進め方を検討

〔上田市中中学校部活動の地域展開スケジュール〕



6 児童生徒の新たな出会い・体験の場の創出に向けて

部活動の加入率は減少していますが、市内全中学生の75.2%（令和4年度）は、何らかの部活動に加入しています。

また、市教育委員会が実施したアンケート調査では、小学生の約6割が中学校進学後、部活動に加入したいと回答しています。

部活動が地域クラブ活動に展開していくにあたり、上田市の児童生徒が、スポーツや文化芸術活動と出会い、仲間を得、面白さや楽しさを感じ、生涯を通してスポーツや文化芸術活動を楽しみ、自分の人生を豊かにする。その出会いの場・体験の場の環境づくりが必要です。

上田市は、児童生徒の実態や願いを踏まえた、新たな環境づくりの創出に向け、地域と学校で取り組みます。

◇児童生徒の願い グループ1（もっとうまく、もっと強く、上の大会に出場したい）

⇒ 競技・技術力向上志向

- ① 既存活動団体がある種目⇒当該団体の活動に参加が可能
※既存活動団体⇒総合型スポーツクラブ、スポーツ少年団、民間スポーツクラブ等
- ② 既存活動団体が無い、あるいは参加しづらい種目⇒**新たな活動場所を創出**

活動場所のタイプ

◎タイプA：転換型（学校単位部活動をそのままクラブ・保護者会等の運営に転換）

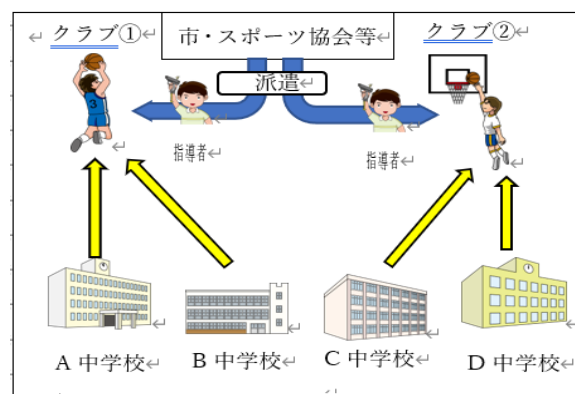
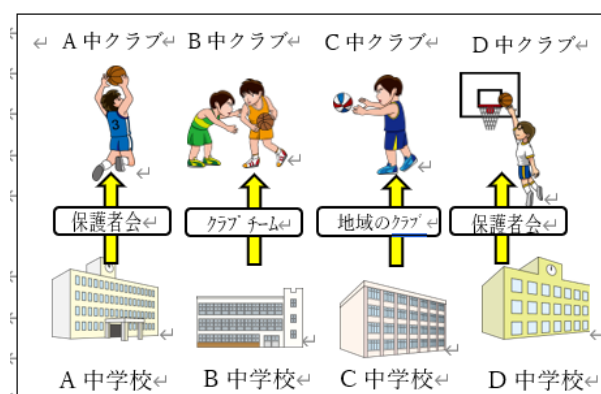
◎タイプB：展開型（複数の中学校生徒が参加できる新たな組織を立ち上げ、競技団体等の運営に展開）

タイプA（転換型）

- 移動時間
- 学校生活の延長上での活動
- 友だちとスポーツに出会う機会がある
- △指導者の指導時間
- △活動費負担
- △指導者の確保

タイプB（展開型）

- 豊富なスポーツとの出会い
- 指導者の指導力
- 生徒の選択幅の増加
- △個人選択による
- △移動手段・時間
- △活動費負担
- △指導者の確保



◇児童生徒の願い グループ2（いろいろな活動を楽しみたい、友人と楽しく活動したい）

⇒ 競技・技術力普及志向

- ・既存活動団体の活動に参加が可能

◇児童生徒の願い グループ3（ゆっくり過ごしたい、休んでいたい）

- ・生徒が参加したいときに、参加できる既存活動団体を紹介していく。

7 計画の推進体制

（1）上田市地域クラブ活動推進協議会

上田市では、令和5年度から、中学校部活動の地域展開を円滑に進めるため、課題を検討し市の基本的な方針を協議することを目的に、有識者、地域スポーツ・文化芸術団体、学校、保護者で構成する移行検討協議会（名称：上田市地域クラブ活動推進協議会）を設置しています。

これまでに4回の協議会を開催し、今後も地域展開が完了するまで定期的に協議を重ねていきます。

<開催経過>

回	開催日	協議内容
1	令和5年12月25日	国・県の状況報告、市アンケート結果報告
2	令和6年10月4日	上田市中学校部活動方針及び推進計画（案）協議
3	12月24日	上田市中学校部活動方針及び推進計画（案）協議
4	令和7年3月27日	「上田市中学生期のスポーツ・文化芸術活動指針」及び「上田市部活動地域展開推進計画」策定

<委員名簿>

令和7年3月時点

いけだ やすし 池田 泰司	上田市教育委員会 元教育参事
こばやし くにあき 小林 邦朗	（一財）上田市スポーツ協会
さいとう つよし 齋藤 毅	上田市校長会 塩田中学校 学校長
さの まさき 佐野 正樹	上田市スポーツ少年団
たかの ゆうこ 鷹野 優子	上田市文化少年団 上田コカリナ合奏団 さくらグループ
たきざわ りえ 瀧澤 利恵	上田市PTA連合会 第三中学校
たけだ きいち 竹田 貴一	上田市文化芸術協会 日本将棋連盟 上田支部
はたけやま まさゆき 畠山 正幸	上田市校長会 第五中学校 学校長
みどりかわ あつし 緑川 篤	上田市長和町中学校組合 依田窪南部中学校 学校長
みやもと めぐみ 宮本 恵美	上田市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 NPO法人さなだスポーツクラブ
やまざき こうじょう 山崎 浩成	上田市PTA連合会 塩田西小学校

(2) 計画の見直し

本計画は、令和 6 年 3 月までに策定された、国及び長野県の指針・ガイドラインをもとに、上田市地域クラブ活動推進協議会での検討を重ね、本市の実情に合った推進計画として策定したものです。

今後、本計画を踏まえた部活動や地域クラブ活動の取組状況を把握するとともに、国や長野県の指針・ガイドラインが改訂された場合などには、必要に応じて見直しを行います。

(3) 情報の発信

本計画を踏まえた地域展開に関する検討状況や取組状況については、市ホームページに掲載するほか、様々な機会を捉え発信することとします。